

管内でカメムシの越冬が確認されています！

令和8（2025）年3月16日

那須農業振興事務所

1. カメムシ類越冬量調査について

近年、温暖化等の影響により各種カメムシ類による農作物の被害が拡大しています。発生予察の精度向上や農作物への被害防止を図るため、当事務所では2月にカメムシ類越冬量調査を実施しました。

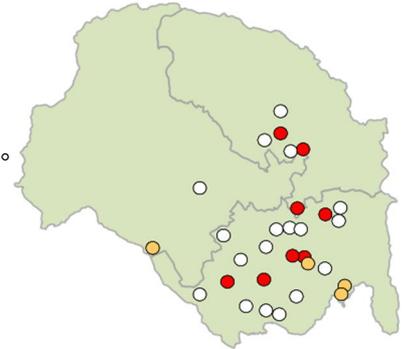


図1 カメムシ越冬量調査地点

2. 調査結果

- 調査地点数：30（図1）
- カメムシ類発見地点数：12（表1）
うち、越冬（生存）個体発見地点数は8

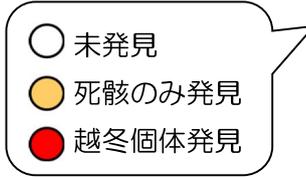


表1 越冬量調査におけるカメムシ類発見地点

	調査地点	調査日	発見した種類（越冬個体）	発見した種類（死骸）
大田原市	黒羽（両郷）	2/2	ホソハリカメムシ×1	—
	黒羽（鉢木）	2/2	ホソハリカメムシ×2 チャバネアオカメムシ×1 ツヤアオカメムシ×1	—
	黒羽（川西）	2/4	アズキハリカメムシ×1 マルカメムシ×10	—
	親園	2/5	マルカメムシ×1	ツヤアオカメムシ×5
	鹿畑	2/5	マルカメムシ×1	アオクサカメムシ×1 チャバネアオカメムシ×2 クサギカメムシ×1
	黒羽（須佐木）①	2/2	—	チャバネアオカメムシ×1
	黒羽（須佐木）②	2/2	—	チャバネアオカメムシ×1
	黒羽（前田）	2/20	—	チャバネアオカメムシ×1
那須塩原市	下大貴	2/6	—	チャバネアオカメムシ×1 ツヤアオカメムシ×6
那須町	稲沢	2/6	ホソハリカメムシ×5 チャバネアオカメムシ×1 アズキハリカメムシ×1	チャバネアオカメムシ×2
	寺子乙①	2/6	イネクロカメムシ×1	イネカメムシ×1
	寺子乙②	2/20	マルカメムシ×5	チャバネアオカメムシ×1 ツヤアオカメムシ×1

3. 発見したカメムシの種類

① 水稻を加害

- ・ホソハリカメムシ（左）
- ・イネクロカメムシ（中央）
- ・イネカメムシ（右）



② 大豆を加害

- ・ホソハリカメムシ（上左）
- ・アオクサカメムシ（上右）
- ・アズキハリカメムシ（下左）
- ・マルカメムシ（下中央）
- ・クサギカメムシ（下右）



③ 果樹や野菜類を加害

- ・チャバネアオカメムシ（左）
- ・ツヤアオカメムシ（中央）
- ・クサギカメムシ（右）



図2 越冬量調査で発見したカメムシ類

4. 斑点米カメムシ類の防除

① 草刈り：畦畔の草刈りでカメムシの経由地を無くす

- 1回目：出穂2～3週間前
- 2回目：出穂期（ほ場全体の4～5割が出穂した頃）

② 薬剤防除：2回防除の徹底

（被害の多いほ場では3回目の防除を行う）

- 1回目：出穂後7～10日後
- 2回目：1回目の7～10日後

※イネカメムシは、他の斑点米カメムシより防除時期が7～10日早まります。

- 1回目：出穂期
- 2回目：1回目の7～10日後

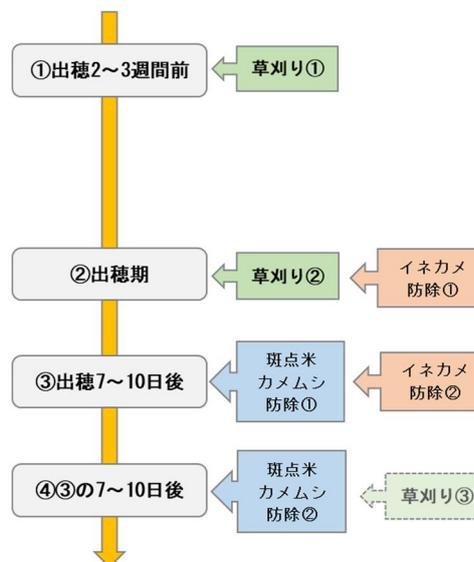


図3 草刈り、薬剤防除の適期

③ ゾーニング：防除適期が近いほ場を集めることで、地域内一斉防除が可能

地域内で、品種と田植え時期を組み合わせ、出穂期が近くなる組み合わせを隣接させることで、出穂期以降の薬剤防除効果の向上が期待できます。

また、区ごとの出穂期が近くなるため、落水時期を同時期にすることも可能となります。

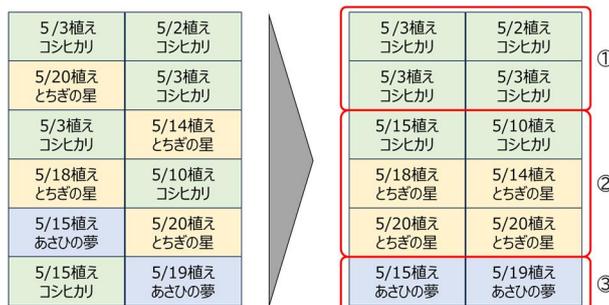


図4 ゾーニングのイメージ